



中央区の 都市景観資源紹介

中央区の 都市景観資源紹介

大阪市では、平成 15 年度及び平成 16 年度に中央区の都市景観資源（旧・指定景観形成物）7 件を登録するとともに、平成 20 年度に中央区の都市景観資源の発掘のため、「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成 22 年 7 月 23 日に「大阪ガスビルディング」、「法善寺水かけ不動尊」、「御堂筋」など 30 件を都市景観資源に登録しました。

おおさかじょうてんしゅかく A 大阪城天守閣



■ 所在地 大阪市中央区大阪城 1 丁目 1 番

■ 登録年月日 平成 15 年 4 月 11 日

■ 概要 大阪城は、天正 11 年（1583 年）豊臣秀吉により築かれたが、大坂夏の陣で焼失、堀も石垣も全て徳川幕府の手で作直された。天守閣は、その後落雷により焼失したままであったが、昭和 6 年（1931 年）、市民の寄付により豊臣秀吉創建時の姿に再建されたもので、鉄筋コンクリート造、外部 5 層、内部 8 層で、館内は秀吉と大阪城を中心とした歴史博物館として活用されている。平成 9 年（1997 年）の大改修により美しい姿がよみがえっている。

きゅうこにしけしゅうたく B 旧小西家住宅

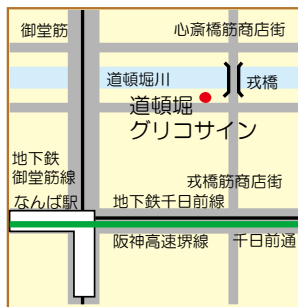


■ 所在地 大阪市中央区道修町 1 丁目 6 番 10 号

■ 登録年月日 平成 15 年 4 月 11 日

■ 概要 旧小西儀助商店（現コニシ株式会社）の旧店舗・住宅で、明治 36 年（1903 年）に一部 3 階建てで完成、塀筋の拡張で西側が切り取られ、のち 3 階部分を撤去して現在の姿になった。船場に残る数少ない町屋の遺構のひとつとして、薬種問屋の形態を残した土蔵造り風の外観が特徴で、重要文化財に指定されている。内部は非公開。

どうとんぼり
C 道頓堀グリコサイン



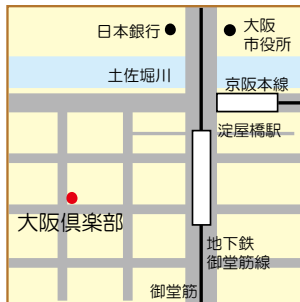
- 所在地 大阪市中央区道頓堀 1 丁目 10 番 1 号
- 登録年月日 平成 15 年 4 月 11 日
- 概要 昭和 10 年（1935 年）に戎橋のそばに初めてグリコのネオン塔が立って以来、デザインが改良され、現在のもので 6 代目となる。今までのネオンを使った光源から、初めて LED が採用され、高さ 20m、横幅 10.384m と大規模なデジタルサイネージによる様々な演出が可能となった。日中は、浮き出たランナーがトラックを走る凹凸がある看板になっているが、夜間は大阪のみならず日本各地や世界各国を駆け巡る背景に変化する。日没 30 分後から 24 時まで点灯し、道頓堀川の名物のひとつとなっている。

いこまとけいてん いこま
D 生駒時計店（生駒ビルヂング）



- 所在地 大阪市中央区平野町 2 丁目 2 番 12 号
- 登録年月日 平成 16 年 10 月 8 日
- 概要 明治 3 年（1870 年）に高麗橋 5 丁目で創業した生駒時計店が、御堂筋の拡幅と地下鉄工事を機に現在地に当ビルを新築。昭和 5 年（1930 年）に竣工した。設計は宗兵藏。国の登録有形文化財に指定されている。

いっばんしゃだんほうじんおおさくらぶ
E 一般社団法人大阪倶楽部



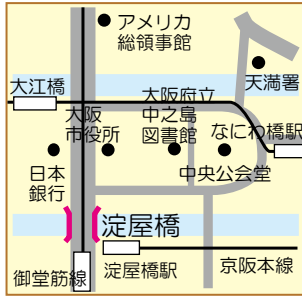
- 所在地 大阪市中央区今橋 4 丁目 4 番 11 号
- 登録年月日 平成 16 年 10 月 8 日
- 概要 大阪財界人によって経済都市大阪の進取的社交場として創設された社団法人大阪倶楽部の旧館が、大正 11 年（1922 年）に焼失したあと、安井武雄の設計により大正 13 年（1924 年）に再建された。国の登録有形文化財に指定されている。

めんぎょうかいかん
F 綿業会館



- 所在地 大阪市中央区備後町 2 丁目 5 番 8 号
- 登録年月日 平成 16 年 10 月 8 日
- 概要 東洋紡の役員であった岡恒夫の遺贈金と関係業界からの醸出金をもとに、綿業関係者の倶楽部会館として、昭和 6 年（1931 年）に竣工した。設計は渡辺節。国の重要文化財に指定されている。

よどやばし G 淀屋橋



- **所在地** 大阪市北区中之島 1 丁目、2 丁目—中央区北浜 3 丁目、4 丁目 間
- **登録年月日** 平成 16 年 10 月 8 日
- **概要** 大正 10 年（1921 年）に決定された第 1 次都市計画事業における御堂筋の建設の一環として土佐堀川に架けられた。北側の大江橋とともに橋梁設計の分野では珍しい一般公募のデザインコンペで大谷瀧雄氏の案が選ばれ、これをもとに実施設計が行なわれたものである。昭和 10 年（1935 年）に完成。国の重要文化財に指定されている。

あいしゅようちえん 1. 愛珠幼稚園



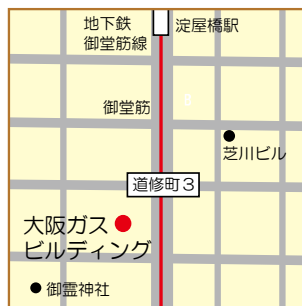
- **所在地** 中央区今橋 3 丁目 1 番 11 号
- **登録年月日** 平成 22 年 7 月 23 日
- **概要** 明治 34 年（1901 年）竣工。園舎としてはめずらしい御殿風の建築様式。築後 100 年以上経ってもなお現役の木造園舎は日本最古である。遊戯室は吹き抜けになっている。天井は寺院などにみられる格天井。建設当時のシャンデリアが今も飾られている。園舎は国の重要文化財に指定されている。周辺の道路についても園舎に調和する意匠で整備されており、落ち着いたまちなみが創り出されている。

あらい 2. 新井ビル



- **所在地** 中央区今橋 2 丁目 1 番 1 号
- **登録年月日** 平成 22 年 7 月 23 日
- **概要** 大正 11 年（1922 年）、大日本報徳銀行大阪支店として建てられ、新井証券を経て新井ビルとなる。外観は完全な左右対称で、茶褐色のタイルの外壁が街に馴染んでいる。国の登録有形文化財に登録されている。

おおさか 3. 大阪ガスビルディング



- **所在地** 中央区平野町 4 丁目 1 番 2 号
- **登録年月日** 平成 22 年 7 月 23 日
- **概要** 昭和 8 年（1933 年）に御堂筋とともに誕生した。外壁は 1・2 階を石材で黒くまとめ、上部は白色のタイル張りとなっている。昭和 41 年（1966 年）に北館が増築され、現在も大阪ガスビルとして使用されている。国の登録有形文化財に登録されている。

4. 大阪証券取引所ビル



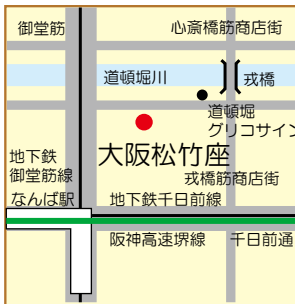
- 所在地 中央区北浜 1 丁目 8 番 16 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 昭和 10 年（1935 年）に完成した旧大阪証券ビル市場館は、ビルの老朽化に伴い、平成 16 年（2004 年）、近代的なガラス張りの超高層ビルに建替えられた。エントランスのドーム部分は当時のままの姿で残されており、ドーム内部の広間と外観は再現保存されている。

5. 大阪城公園



- 所在地 中央区大阪城
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 大阪城公園は、都心に位置する開設面積約 105.6ha の史跡を中心とした広大な歴史公園である。外濠に囲まれた 73.4ha は国の特別史跡に指定されており、多門櫓(たもんやぐら)・千貫櫓(せんがんやぐら)など 13 棟の重要文化財を有するほか、大阪城天守閣や約 600 本の桜を楽しめる西の丸庭園、約 100 品種、約 1300 本の梅が咲き誇る梅林や市民の森・記念樹の森などがあり、都市に貴重で豊かな緑を提供している。また、平成 27 年（2015 年）4 月からは、「大阪城公園パークマネジメント事業」として、民間事業者により、大阪城公園の特徴を活かした様々な魅力あふれる事業や新たな施設の設置・運営、既存施設の活用など、歴史観光拠点としてさらなる魅力向上が図られている。

6. 大阪松竹座



- 所在地 中央区道頓堀 1 丁目 9 番 19 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 大正 12 年（1923 年）に関西初の洋式劇場として開館。豪華な装飾のある建物は、道頓堀の顔として人々に親しまれてきた。平成 9 年（1997 年）、建物の正面全体に広がる優美な装飾レリーフ※をそのまま残し新築開場する。多くの劇場でにぎわっていた大阪道頓堀の文化機能を今でも担い続けている。

※レリーフ：浮き彫りまたは浮き彫り細工。

おおさかふちょうほんかん
7. 大阪府庁本館



- 所在地 中央区大手前 2 丁目 1 番 22 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 大正 15 年 (1926 年) 竣工。現行の都道府県庁舎としては最も古い。外壁に石材と白い擬石タイルを広く用い、勾配のない水平の屋根とした外観意匠に特色があり、正面玄関の車寄せには個性的な装飾が施されている。大理石仕上げの床や階段をもつ 3 層吹き抜けの玄関ホールは、映画やドラマのロケにも利用されている。

きたはま
8. 北浜レトロビルディング



- 所在地 中央区北浜 1 丁目 1 番 26 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 明治 45 年 (1912 年)、株仲買商の商館として建設。戦後は建築資材の専門商社の本社社屋として利用されたが、平成 9 年 (1997 年)、大規模な保存改修工事を経て、建築当時の雰囲気そのままに再生された。2 階北側の窓からは土佐堀川越しに中之島公園のバラ園を見渡すことができる。国の登録有形文化財に登録されている。

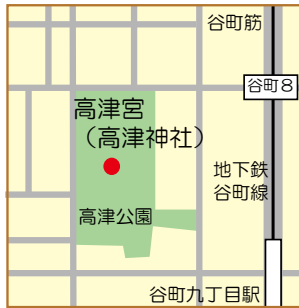
9. クリスタルタワー



- 所在地 中央区城見 1 丁目 2 番 27 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 平成 2 年 (1990 年)、大阪ビジネスパークの西側、二つの川が合流する場所に完成した超高層ビル。「中之島からの遠望が新しい水都大阪の代表的な都市景観である」として第 12 回大阪まちなみ賞※を受賞している。

※大阪まちなみ賞：景観上優れた建物やまちなみに対して表彰するもので、大阪市・大阪府・(社)大阪府建築士会の 3 者の共催により昭和 56 年から実施。

10. 高津宮 (高津神社)



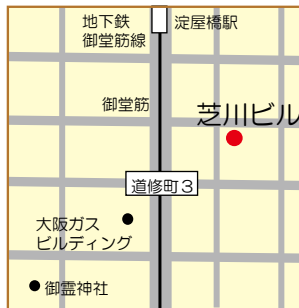
- 所在地 中央区高津 1 丁目 1 番 29 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 平安初期、清和天皇が仁徳天皇の徳政を慕い、難波高津宮（なにわのたかつのみや）旧跡の地に社殿を築いてお祀りしたのが始まり。豊臣秀吉が大阪城築城に際して現在の地に移した。桜まつりや夏祭りなどの祭りが行われている。また、古典落語や文楽の舞台となっており、古くより人々に親しまれていることがうかがえる。

11. 高麗橋



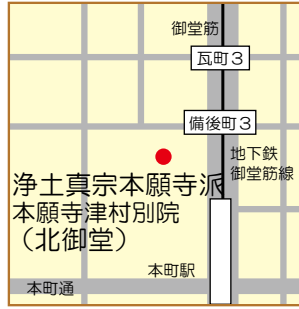
- 所在地 中央区東高麗橋・高麗橋 1 丁目間
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 慶長 9 年（1604 年）、立派な擬宝珠（ぎぼし）をもつ橋として架けられた高麗橋は、江戸時代に 12 あった公儀橋（幕府直轄管理の橋）のなかでも特に重要視され、西詰には幕府の高札（公報板）が立てられた。西日本各地への街道の起点とされ、これを表す里程元標が置かれた。その跡を示す碑が東詰め北側に立っている。

12. 芝川ビル



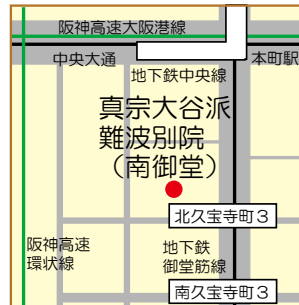
- 所在地 中央区伏見町 3 丁目 3 番 3 号
 - 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
 - 概要 昭和 2 年（1927 年）竣工。昭和 4 年（1929 年）、ビル内に「芝蘭社家政学園（しらんしゃかせいがくえん）」を開校。戦後はテナントビルとして使われている。竜山石※をふんだんに用いた彫りの深い装飾が施されている。国の登録有形文化財に登録されている。
- ※竜山石：兵庫県高砂市に産する石材名。

じょうとしんしゅうほんがんじは ほんがんじつむらべついでん きたみどう
13. 浄土真宗本願寺派 本願寺津村別院（北御堂）



- 所在地 中央区本町 4 丁目 1 番 3 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 大阪の発祥は本願寺の寺内町形成に由来するが、本願寺は信長との石山合戦で大坂を退去。残った門徒たちが天満に集会所を設け、慶長 2 年（1597 年）の町割改革により現在の地に移転。後に津村別院となる。明治元年（1868 年）に大阪鎮台が置かれ、また行在所となり明治天皇の行幸が行われた。大阪大空襲により焼失した本堂は、昭和 39 年（1964 年）近代的なコンクリート造で再建された。

しんしゅうおおたには なんばべついでん みなみみどう
14. 真宗大谷派 難波別院（南御堂）



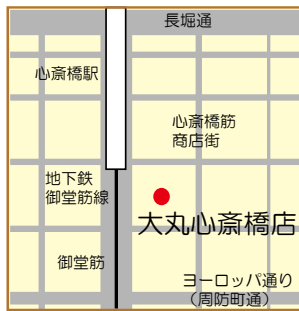
- 所在地 中央区久太郎町 4 丁目 1 番 11 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 文禄 5 年（1596 年）大谷本願寺として大坂渡辺の地に建立。慶長 3 年（1598 年）大阪城の拡張により現在の地に移転。後に難波別院となり、「北御堂」と呼ばれた津村別院とともに「南御堂」と称されている。戦時中の大阪大空襲により焼失した本堂は、昭和 36 年（1961 年）二重屋根で再建された。屋根裏の垂木を省略した簡素な表現はコンクリート建築の特性を活かしたデザイン。

せんば
15. 船場ビルディング



- 所在地 中央区淡路町 2 丁目 5 番 8 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 三休橋筋の拡張を機に大正 14 年（1925 年）竣工。オフィスと住宅をあわせもつビルとして建設され、注目を集めた。また、船場という場所柄から、装飾性のみでなく、トラックや荷馬車などを引き込むのに便利な機能性を重んじた設計が大きな特徴となっている。国の登録有形文化財に指定されている。

だいまるしんさいばしみせ
16. 大丸心斎橋店



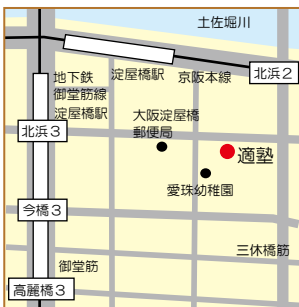
- 所在地 中央区心斎橋筋 1 丁目 7 番 1 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 大正 14 年（1925 年）、第 1 期、第 2 期工事により心斎橋側が完成し、心斎橋筋に面する中央玄関上部に巨大なピーコックレリーフが掲げられた。昭和 8 年（1933 年）には御堂筋の拡張整備に合わせて、御堂筋側が増築され高さ 100 尺（約 30m）の外観が築かれた。

たまつくりいなりじんじゃ
17. 玉造稲荷神社



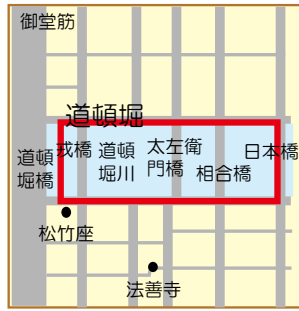
- 所在地 中央区玉造 2 丁目 3 番 8 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 社伝によれば垂仁天皇 18 年（紀元前 12 年）の秋にお祀りしたのが始まり。日本書紀に記された玉の故郷に鎮座し、豊臣・徳川時代には大阪城の鎮守神として崇められた。だんご茶会や玉造黒門越瓜食味祭（たまつくりくろもんしろうりしょくみさい）などの行事が行われている。

てきじゆく
18. 適塾



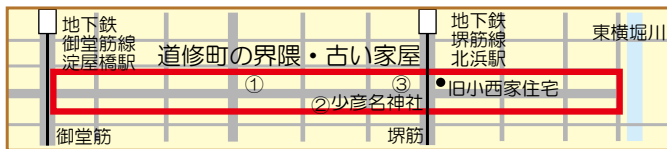
- 所在地 中央区北浜 3 丁目 3 番 8 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 医師・蘭学者であった緒方洪庵が開いた蘭学塾。洪庵は、天保 9 年（1838 年）、大坂の瓦町に適塾を開いたが、弘化 2 年（1845 年）に過書町（現在の場所）に移転した。幸運にも戦災を免れ、江戸時代後期の町家の姿を現在に伝えている。1 階は、洪庵の書斎や家族部屋などがあり、2 階には塾生大部屋などがある。国の史跡及び重要文化財に指定されている。

19. 道頓堀



- 所在地 中央区道頓堀 1 丁目、宗右衛門町、心齋橋筋 2 丁目
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 慶長 17 年（1612 年）、安井道頓らが私財を投じて運河開削に着工、元和元年（1615 年）完成。道頓堀川にかかる戎橋は昼夜を問わず多くの人々にでぎわっている。道頓堀川の水辺には親水性の高い遊歩道「とんぼりリバーウォーク」が整備（平成 25 年（2013 年）全区間供用開始）され、これまでと違った川の風景、まちの風景を楽しむ空間となっている。

20. 道修町の界隈・古い家屋



- 所在地 中央区道修町 1 丁目～3 丁目
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 道修町は薬業関連会社が多く、江戸時代からこのあたり一帯は、町の人たちが子弟や丁稚のためにお金を出し合って塾や学校をつくり、商売と勉学を両立させていた。戦災を逃れたこの界隈には老舗の看板を掲げる建物が今も現役で残っている。

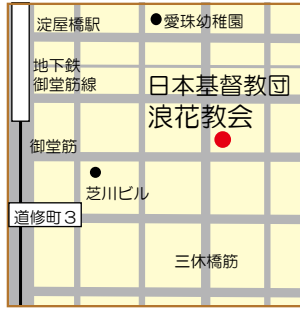
21. 南海ビル（難波駅・高島屋）



- 所在地 中央区難波 5 丁目 1 番 60 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 御堂筋の建設を前後して、昭和 7 年（1932 年）、ミナミの玄関口に 4 代目の南海難波駅が完成。現在もミナミのターミナルの役割を果たしている。ビルの外壁はすべてテラコッタ※が張り詰められ、連続する半円アーチと古典的な飾りのある円柱の壁面が特徴的である。当時から冷暖房完備されたターミナルビルには、現在もテナントとして高島屋が営業している。

※テラコッタ：素焼きの陶器焼き。

にほんきりすときょうだんなにわきょうかい
22. 日本基督教団浪花教会



- 所在地 中央区高麗橋 2丁目6番2号
- 登録年月日 平成22年7月23日
- 概要 明治10年(1877年)、日本人によって設立された最初の自給教会「浪花公会」が前身。教会堂は昭和5年(1930年)に建設された。礼拝室にある外観からでもわかる大きなアーチ窓のステンドグラスが印象的である。

はちけんやはまふなつきはあと ちか いしだたみ かいだん
23. 八軒家浜船着場跡の近くにある石畳の階段



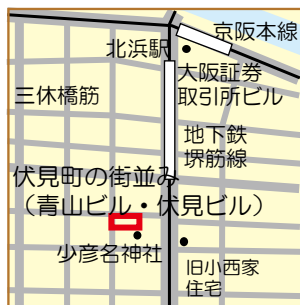
- 所在地 中央区石町1丁目
- 登録年月日 平成22年7月23日
- 概要 この付近は、古くは渡辺の津と呼ばれる船着場で、熊野街道の起点でもあった。平安時代中期から鎌倉時代にかけては「蟻の熊野詣」といわれ、人々はここで上陸して熊野に向かったといわれる。さらに江戸時代には、八軒家浜と呼ばれ、三十石船がつき、人の往来だけでなく、交易の場としてもにぎわった。

はらださんぎょう おおさかほんしゃ
24. 原田産業 (大阪本社ビル)



- 所在地 中央区南船場2丁目10番14号
- 登録年月日 平成22年7月23日
- 概要 昭和3年(1928年)竣工。大きな四角い窓とアーチ型の入口の対比がはっきりしたデザインが特徴的。窓からは吹き抜けの階段が臨める。貿易商社原田産業の本社屋として設計建築され、現在も同社の本社ビルとして使い続けられている。

ふしみちょう まちなみ あおやま ふしみ
25. 伏見町の街並み (青山ビル・伏見ビル)



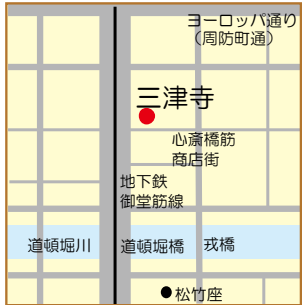
- 所在地 中央区伏見町2丁目2番
- 登録年月日 平成22年7月23日
- 概要 伏見町には、青山ビルや伏見ビルといった戦前の建築物が当時と変わらない姿で今も存在している。青山ビルは大正10年(1921年)に洋館の邸宅として建てられ、ビル全体を覆う蔦が四季折々の姿を見せる。伏見ビルは大正12年(1923年)にホテルとして建てられ、円形の飾り窓などの外観が特徴的である。両ビルとも、国の登録有形文化財に登録されている。

ほうぜんじみす ぶどうそん
26. 法善寺水かけ不動尊



- 所在地 中央区難波 1 丁目 2 番 16 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 法善寺の西向不動尊。苔に包まれてきれいな緑色になったお不動さんは「水かけ不動」として親しまれている。お供え物を持ち合わせていなかった参拝客が、思わず水をかけて手を合わせたのが始まりだと伝えられている。

みつてら
27. 三津寺



- 所在地 中央区心斎橋筋 2 丁目 7 番 12 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 奈良時代の難波宮(なにわのみや)遷都の際に、僧の行基が開いたと伝えられる。寺院の台所や住居部分である庫裡は、昭和 8 年(1933 年)の御堂筋拡張工事のときに新築されたもの。文化 5 年(1808 年)に建てられた木造の本堂は、戦災を無事免れ、庫裡ともども往時の姿をそのまま保っている。

みどうすじ
28. 御堂筋



- 所在地 中央区北浜 3 丁目、4 丁目～難波 5 丁目
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 大阪の都心部を南北に貫くメインストリートであり、美しい景観を有する大阪のシンボルロードでもある。昭和 12 年(1937 年)完成。沿道建物の高さは約 31m までに制限され、整然とした景観がつけられた。平成 7 年(1995 年)には、御堂筋沿いの壁面の 4m 後退などを条件に、軒高 50m、最大高さ 60m まで緩和された。銀杏並木は大阪みどりの百選や大阪市指定文化財に指定されている。

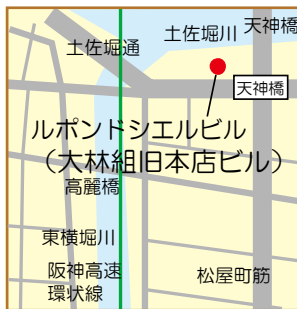
きゅうだいやんしだんしれいぶちょうしゃ
29. 旧第四師団司令部庁舎



- 所在地 中央区大阪城 1 番 1 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 昭和 6 年（1931 年）に陸軍の第四師団司令部の建物として竣工。終戦後は駐留軍施設として接收された。昭和 23 年（1948 年）、大阪市警察本部として返還を受け、府警本部となった後、昭和 35 年（1960 年）から平成 13 年（2001 年）まで大阪市立博物館として使用されていた。

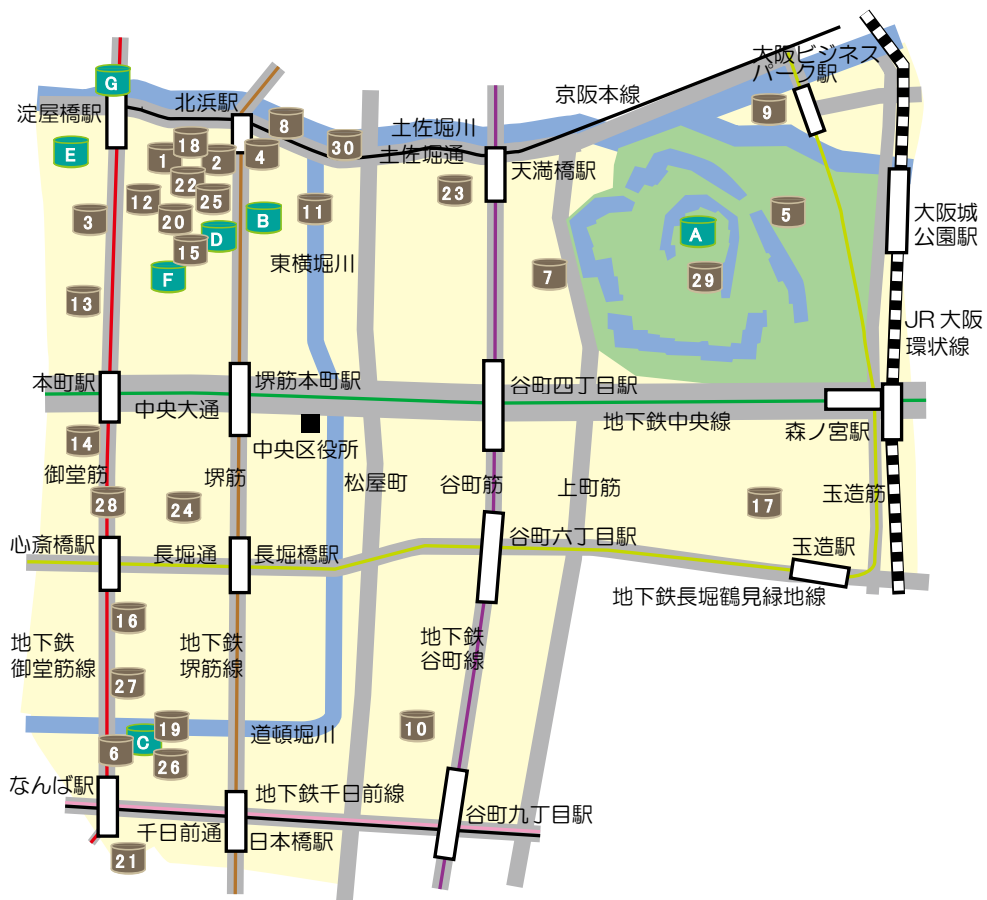
現在は、大阪城公園パークマネジメント事業として、民間事業者が耐震改修等を行い、平成 29 年（2017 年）10 月からミライザ大阪城としてリニューアルオープンし、多くのショップやレストランなどが大阪城を訪れる人々を楽しませている。

おおばやしぐみきゅうほんてん
30. ルポンドシエルビル（大林組旧本店ビル）



- 所在地 中央区北浜東 6 番 9 号
- 登録年月日 平成 22 年 7 月 23 日
- 概要 大正 15 年（1926 年）大林組の四代目本店ビルとして竣工。平成 19 年（2007 年）に、耐震補強を含む全館の改修工事が行われ、南向いにある大阪大林ビルに入居していたフレンチレストラン、大林組歴史館などが当ビルに移転した。ビル中央のアーチ部が印象的である。

中央区の都市景観資源（分布図）



平成 15 年度・平成 16 年度登録の都市景観資源 （旧・指定景観形成物）

- A** 大阪城天守閣
- B** 旧小西家住宅
- C** 道頓堀グリコサイン
- D** 生駒時計店(生駒ビルディング)
- E** 一般社団法人大阪倶楽部
- F** 綿業会館
- G** 淀屋橋

- 11** 高麗橋
- 12** 芝川ビル
- 13** 浄土真宗本願寺派 本願寺津村別院（北御堂）
- 14** 真宗大谷派 難波別院（南御堂）
- 15** 船場ビルディング
- 16** 大丸心齋橋店
- 17** 玉造稻荷神社
- 18** 適塾
- 19** 道頓堀
- 20** 道修町の界限・古い家屋
- 21** 南海ビル（難波駅・高島屋）
- 22** 日本基督教団浪花教会
- 23** 八軒家浜船着場跡の近くにある石畳の階段
- 24** 原田産業（大阪本社ビル）
- 25** 伏見町の街並み（青山ビル・伏見ビル）
- 26** 法善寺水かけ不動尊
- 27** 三津寺
- 28** 御堂筋
- 29** 旧第四師団司令部庁舎
- 30** ルポンドシエルビル（大林組旧本店ビル）

平成 22 年 7 月 23 日登録の都市景観資源

- 1** 愛珠幼稚園
- 2** 新井ビル
- 3** 大阪ガスビルディング
- 4** 大阪証券取引所ビル
- 5** 大阪城公園
- 6** 大阪松竹座
- 7** 大阪府庁本館
- 8** 北浜レトロビルディング
- 9** クリスタルタワー
- 10** 高津宮（高津神社）